

【中東 IP 情報】イラクが特許協力条約（PCT）に加盟

2022年2月2日
ジェトロ・ドバイ事務所

イラクは2022年1月31日、特許協力条約（PCT）への加盟書を世界知的所有権機関（WIPO）に寄託した。同協定は、UAEで2022年4月30日に発効する予定。イラクは155番目の締約国である。今後は、直接出願に加えてPCTルートでイラクでの特許取得が可能となる。

PCTは知財関連条約の中で加盟国数が多く、中東地域でもおよそその国が加盟している¹。他方、中東のPCT加盟国の中でPCTルートの利用が進んでいるのはイスラエルとトルコのみで、その他の国では出願件数が少ないのが実態である²。また、イラクへの近年の特許出願件数は約700～800件で、うち外国からの出願件数は約100件と出願規模は小さい³。このような状況下、今回のイラクによるPCT加盟は中東地域でのグローバルな特許取得の利便性を高めるものである。

—PCT加盟に関するWIPOの発表（英語）は、以下参照—
https://www.wipo.int/pct/en/news/2022/news_0006.html

—PCTの概要は、以下のWIPOウェブサイト参照—
<https://www.wipo.int/pct/ja/treaty/about.html>

—イラクの知的財産制度の概要は、以下のJETROウェブサイト参照（PDF）—
https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/middle_east/ip/pdf/ir_201903.pdf

（了）

¹ 中東地域のPCT加盟国は、GCC6か国（アラブ首長国連邦、サウジアラビア、オマーン、バーレーン、クウェート、カタール）、シリア、ヨルダン、イラン、トルコ、イスラエル。レバノン、イエメンは、本記事発行時点で未加盟。

² PCT受理件数は、トルコ1518件、イスラエルが1371件、イラン46件、サウジアラビア22件（2020年）。出典は、WIPO IP Statistics Data Center。

³ イラクの知財庁（計画省の標準化・品質管理中央機関（COSQC）の知的財産部）への出願件数 2017年714件（うち外国101件）、2018年730件（うち外国77件）、2019年843件（うち外国106件）、2020年733件（うち外国98件）。日本企業由来の内訳は不明。出典は、WIPO IP Statistics Data Center。